

## 滋賀県介護支援専門員実務研修（実習）について「Q&amp;A」

## ■「介護支援専門員実務研修（実習）にかかる協定書」について

質問 1：以前に協定を行っているが、協定書は毎年、提出する必要があるのか？

回答：「介護支援専門員（実習）にかかる協定」の更新および変更（第 12 条）に定めるとおり、実習事業所の要件に変更がない場合、次年度以降、更新することとしていますので、既に協定を締結している事業所については協定書を新たに提出いただく必要はありません。

なお、法人名等の変更があった場合は変更届、特定事業所加算対象事業所でなくなった場合は解除届を提出いただく必要があります。

## ■実習指導者について

質問 2：実習指導者以外の介護支援専門員が実習してもいいのか？

回答：基本的に実習指導者を想定していますが、主任介護支援専門員が中心となつての指導を基本としています。ただし、事業所全体で受け入れる体制をとり、情報共有の上、分担して担当する体制が整っていれば差し支えありませんが、最終的に実習指導者（主任介護支援専門員）に集約し実習生にフィードバックが行えるようにしてください。

質問 3：訪問等すべての見学について、主任介護支援専門員が同行しなければならないのか？同事業所内の介護支援専門員との訪問でも良いのか？

回答：主任介護支援専門員で対応していただくことが原則ですが、やむを得ない場合（緊急のケース対応や体調不良等）については、同事業所内の介護支援専門員の同行訪問の調整をお願いします。また、同行訪問後は、訪問内容を把握し、オリエンテーションや振り返りで主任介護支援専門員がフォローするなど対応することは差し支えありません。

## ■実習時間について

質問 4：実習時間は 1 日 8 時間なのか？

予定より早く訪問や会議が終わり、実習時間が 21 時間に満たない場合、問題はないのか？

回答：特に問題ありません。厚労省「介護支援専門員養成研修における実習受入に関する指針」の「実習の実施」においても、実習期間は 3 日程度相当となっています。

質問 5：事業所の就業時間が 8 時から開始だが問題ないのか？

回答：特に問題ありません。実習生と相談し、事業所の時間にあわせて実習計画を作成し、ご対応をお願いします。

## ■損害保険の加入について

質問 6：実習生を受け入れるために損害保険の加入を考えた方が良いのか？

同行訪問時、車移動の際の事故が心配だが、万が一事故が起きた際の責任はどうするのか？

回答：滋賀県社会福祉協議会が実習実施予定期間内を対象に実習に伴う保険加入（ボランティア行事保険）は、行います。

実習中の実習生自身のケガは上記の保険で補償されますが、賠償責任（対人・対物）部分については、事業所の車両保険等で対応していただきます。

基本的に実習生の実習先事業所への移動は、訪問先も含めて実習生自身で行っていただくこととしています。

## ■実習のケースについて

質問 7：実習指導者の担当ケースで、実習期間中に適切なケースがない場合は、ほかの担当者ケースでも良いのか？

回答：差し支えありません。（「質問 2 実習指導者」もご参照ください）

## ■見学・観察実習（会議）について

質問 8：実習期間中にサービス担当者会議の開催や退院に向けてのカンファレンスがない場合、どのように対応したらよいのか？

サービス担当者会議や地域ケア会議等に代えて、事業所内等で開催する事例検討会への参加で対応してもよいのか？

回答：実習内容として、異なる種類の会議 2 種類への参加としています。実習期間中にサービス担当者会議、地域ケア会議、退院カンファレンス等の外部の会議への参加をお願いします。特に、サービス担当者会議は、実習期間中に必ず 1 度は参加できるように調整をお願いします。また、外部会議が開催されない場合は、実際に開催された会議を想起したロールプレイ等による模擬会議で代替をお願いします。【令和 5 年度\_修正】

## ■実習協力者について

質問 9：実習生から実習協力者の方が見つからないため、実習協力者を紹介してほしいと相談を受けたが、紹介してよいのか？

回答：実習協力者については、実習生自身の責任において、ご自身のお近くの地域包括支援センター等で相談し実習協力者を見つけていただくように説明をしています。ただし、実習生から実習協力者の選定について相談があった場合には、実習受入事業所においてもご協力をお願いします。

質問 10：対象にできない実習協力者やケースはありますか？  
また、模擬ケアプラン作成の実習協力者とは、どのような方ですか？

回答：対象とならない実習協力者がありますので、ご注意願います。  
実習協力者は、在宅生活をされている要介護状態にある高齢者（原則として 65 歳以上）であり、要介護 1 以上の認定を受けているか、要介護 1 以上と推定される方が対象です。  
施設に入所中（有料老人ホーム、軽費老人ホーム、グループホーム、ケアハウス、サービス付高齢者住宅を含む）や、居宅等サービス利用者であっても、特定施設入所者生活介護は対象外です。  
また、入院中の方（退院が決定していても実習予定日に入院中の方は対象外）、実習生の家族や近隣の親族の方、また他の実習生の協力者と同一人物の方も対象外です。  
なお、小規模多機能型居宅サービスの利用は、特定の研修修了者によるケアプラン作成となるため、模擬プラン作成実習においては小規模多機能型居宅サービス以外でプラン作成を行います。  
また、軽度の認知症で、実習であることを正しく理解され、コミュニケーションに支障のない方であれば認知症の方も対象としていただけます。実習は家族等が同意すれば良いだけではありません。あくまでもご本人が同意して理解していただけることが重要です。

質問 11：模擬ケアプラン作成の実習協力者は、認知症の方も含まれますか？

解答：軽度の認知症で、実習であることを正しく理解され、コミュニケーションに支障のない方であれば認知症の方も対象としていただけます。この場合、家族等が同意すれば良いだけではありません。あくまでもご本人が同意して実習に協力していただけることが重要です。

■模擬ケアプラン作成について

質問 12：模擬ケアプラン作成実習は、実習受入事業の実習指導者が担当するのか？  
実習報告書は、いつまでに確認したらよいのか？

回答：実習受入事業所の実習担当者の方には、「見学・観察実習」と「模擬ケアプラン作成実習」の両方をご指導いただきます。

実習報告書の作成については、模擬ケアプラン作成報告書が仕上がり次第、実習指導者からアドバイスを受けるよう説明しています。また、アドバイスを受け加筆修正したものを実習報告書として指定された期日までに提出することとしています。

実習生と実習担当者で、実習計画を立てる際に、模擬ケアプラン作成についてもアドバイスをされる日を予め確保いただき、進捗確認をお願いします。

■評価について

質問 13：実習の評価によって、実習生にペナルティー等はあるのか。

回答：基本的にはありません。ただし、協議が必要となる事態が発生した場合は、社会福祉協議会研修センター事務局や県担当課等で共有し、対応を検討することもあります。

■実習生の実習態度等への対応について

質問 14：実習日に来ない、遅刻等、実習態度が明らかに悪い場合の対応について教えて欲しい。

回答：原則、遅刻や無断欠席は認められません。無断欠席や遅刻など実習生が実習受入事業の指示に従わない場合等は、速やかに研修センターにご連絡ください。